

その他の自然災害にも備えよう

地震に備える

鹿児島市 地震・津波対策に関する情報

検索

地震の揺れを感じたら、どんな場所でも「あわてず、まず身を守る」ことが大切です。

自宅で地震にあったら

- ① 3つの安全確保行動「まず低く」「頭を守り」「動かない」を実行する
- ② 無理に火を消そうとしない

◇家の中の安全対策

- ① 家具は倒れにくいように置く
- ② 家の中に逃げ場としての安全な空間をつくる
- ③ 寝室、子どもや高齢者のいる部屋には家具を置かない
- ④ 安全に避難できるように、出入口や通路には物を置かない



外出先で地震にあったら

- ① 屋外ではブロック塀の倒壊、看板や割れたガラスの落下に注意
- ② エレベーターでは最寄りの階に停止させ、すぐにおりる
- ③ 人が大勢いる施設では、係員の指示に従い、あわてて出口に走り出さない



津波に備える

鹿児島市 津波避難ビル

検索

津波警報など、津波に関する情報が発表されたら、近くの高台や津波避難ビルに向かうなど、津波の危険から身を守るための迅速な行動が必要です。

津波から避難するポイント

- ① 地震の揺れの程度で津波の有無を自ら判断しない
- ② 「より遠く」ではなく、「より高い」ところに
- ③ 「ここには津波が来ない」という俗説を信じない
- ④ 原則、徒歩で避難
- ⑤ 引き潮がなくても津波は襲う



津波警報・注意報の種類

種類	発表基準	発表される津波の高さ	
		数値での発表(津波の高さ予想の区分)	巨大地震の場合の発表
大津波警報	予想される津波の高さが高いところで3mを超える場合	10m超(10m<予想高さ)	巨大
		10m(5m<予想高さ≤10m)	
		5m(3m<予想高さ≤5m)	
津波警報	予想される津波の高さが高いところで1mを超え、3m以下の場合	3m(1m<予想高さ≤3m)	高い
津波注意報	予想される津波の高さが高いところで0.2m以上、1m以下の場合であって、津波による災害のおそれがある場合	1m(0.2m≤予想高さ≤1m)	(表記しない)

※鹿児島県の予測調査では、鹿児島湾直下で震度7の地震(想定最大の)が発生すると、最大3.4mの津波が13分後に到達する想定になっています。

桜島の火山噴火に備える

鹿児島市 桜島火山対策に関する情報

検索

火山噴火は、降灰だけでなく噴石の飛散や火砕流など、さまざまな現象が起こります。また、大規模噴火時には、桜島島内だけでなく、風向き(東の風)によっては市街地側にも大量の軽石や火山灰が降り積もることも想定されるため、日頃から備えておく必要があります。

桜島大規模噴火対策(大量軽石火山灰対策)

大正3年(1914年)の大規模噴火から100年以上が経過し、桜島のマグマの供給源である始良カルデラ下のマグマの蓄積は、2020年代には大正噴火前のレベルまでほぼ戻ると言われています。今後、大正噴火級の大規模噴火が発生し、「東の風」の場合、市街地側でも大量の軽石や火山灰が最大1m積もることなどが想定されることから、事前に避難することが重要です。

〈1914年大正噴火の様子〉

鹿児島県立博物館所蔵



見たこともないような高さの噴煙



噴火活動中に起きた大地震による被害



大量の軽石や火山灰に埋もれた家屋

